

安全データシート

作成日 2024 年 6 月 1 日

1. 化学物質等及び会社情報

製 品 名: カジマクールミックスアクア

会 社 名: 鹿島道路株式会社

住 所: 東京都文京区後楽 1-7-27

この安全データシートに関する問合せ先(本店 営業部) 電話番号: 03-5802-8011

推奨用途および使用上の制限: アスファルト舗装のポットホール補修材

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

健康に対する有害性

急性毒性(経口)

急性毒性(経皮)

急性毒性(吸入)

皮膚腐食性/刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

呼吸器感作性

皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回暴露)

特定標的臓器毒性(反復暴露)

誤えん有害性

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)

水生環境有害性 長期(慢性)

区分に該当しない

分類できない

分類できない

分類できない

分類できない

区分2

分類できない

分類できない

区分2

区分1

区分2

区分3(気道刺激性)

区分1(呼吸器)

分類できない

分類できない

分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

- ・強い眼刺激(加熱時)
- ・遺伝性疾患のおそれの疑い(加熱時)
- ・発がんのおそれ
- ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・呼吸器への刺激のおそれ
- ・長期にわたる又は反復暴露による呼吸器系の障害

注意事項

安全対策:

- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。
- ・取扱い後は手をよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急処置:

- ・気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・気分が悪い時は医師の診断/手当てを受けること。
- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して

- いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 - ・眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
- 保管： ・施錠して保管すること。
- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 廃棄： ・内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報物質

単一製品・混合物の区分： 混合物
 化学名又は一般名： アスファルト混合物
 主な成分および含有量：

成 分 名	CAS番号	化審法・安衛法	含有率(%)
アスファルト	8052-42-4	9-1720・12-189	<5
ポルトランドセメント	65997-15-1	—	<5
植物由来脂肪酸	非公開	非公開	<3
石油系炭化水素	非公開	非公開	<3
碎石	非公開	非公開	>90

4. 応急措置

- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹼で洗うこと。
 必要に応じて医師の診断／手当てを受けること。
- 目に入った場合： 清浄な水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続け、最低15分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合： 無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は、水で十分洗う。
- 予想される急性症状及び 情報なし
- 遅発性症状：
- 最も重要な兆候および症状： 飲み込むと下痢、嘔吐する可能性がある。
 目に入ると炎症を起こす可能性がある。
 皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。
 ミストを吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 粉末消火器、泡消火器、炭酸ガス消火器
- 使ってはならない消火剤： 棒状の水
- 特有の消火方法： 初期の火災には、粉末、炭酸ガス、を用いる。
 大規模火災の場合、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。
 消火作業は、可能な限り風上から行う。
 関係者以外は安全な場所に退避させる。
- 消火を行う者の保護： 消火作業の際には、適切な保護具（手袋、眼鏡、送気型呼吸保護具等）を着用する。
 消火作業を行う者は、空気呼吸器などの保護具を着用し、酸素欠乏および有害ガスから身をまもること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 作業には適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用し、可能な限り風上で作業する。多量の場合は人を安全な場所に退避させ、関係者以外の立ち入りを禁止する。必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項: 下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意する。
- 除去方法: 漏出物を密閉可能な容器にできる限り集める。回収時は火花の出ない器具を用いて回収する。回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。
- 二次災害の防止策: 付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。火花を発生しない器具を用いる。火気厳禁。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。河川等に流出した場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策: 皮膚、眼への接触を避ける保護具を着用する。取り扱い場所の近くに洗眼および身体洗浄のための設備の設置が望ましい。静電気放電防止処置を施す。
- 局所排気・全体換気: 局所排気装置、全体排気装置のある換気の良い場所で取り扱う。
- 安全取扱い注意事項: 容器は注意して取扱い、みだりに蒸気を発生させない。皮膚、眼および衣類に触れないように適切な保護具を着用する。取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。

保管

- 保管条件: 通気のよい場所で容器を密閉して保管する。火気厳禁。熱、着火源から離して保管する。禁煙。直射日光を避け、出来る限り室内の涼しい場所に貯蔵する。
- 安全な容器包装材料: プラスチック製袋、アルミ製袋

8. 暴露防止および保護措置

- 管理濃度: データなし
- 許容濃度: データなし
- 設備対策: 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものを置かないような設備とすること。密閉場所で作業する場合には、排気装置を取り付けること。

保護具

- 呼吸器の保護具: 通常必要でないが、必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)
- 手の保護具: 長期間又は繰り返し接触する場合には耐油性のものを着用する。
- 眼の保護具: 側板付保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面)
- 皮膚および身体の保護具: 静電気防止加工長袖作業衣等。
- 衛生対策: 汚れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態、形状、色など: 黒色固体
- 臭い: 石油臭あり
- pH: データなし
水と接触するとアルカリ性を示す。
- 融点、凝固点: データなし

沸点、初留点および沸騰範囲: データなし
 引火点: 200°C以上
 爆発限界: データなし
 蒸気圧: データなし
 蒸気密度(空気=1): データなし
 比重(密度): データなし
 溶解度: 水に不溶
 オクタノール／水分配係数: データなし
 自然発火温度: データなし
 分解温度: データなし
 臭いのしきい(閾)値: データなし
 蒸発速度(酢酸ブチル=1): データなし
 燃焼性(固体、ガス): データなし

10. 安定性および反応性

安定性: 常温・常圧で安定。
 反応性: 自己反応性なし。
 避けるべき条件: 高温多湿、加熱。
 混触危険物質: ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないように注意する。

11. 有害性情報

急性毒性

経口: 混合物としてのデータなし
 経皮: 混合物としてのデータなし
 吸入: 混合物としてのデータなし
 皮膚腐食性／刺激性: 混合物としてのデータなし
 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性: 混合物としてのデータなし
 (アスファルトの情報)
 減圧残留残渣油として、ドレイズテストの結果、軽度の刺激性が確認されている。
 アスファルト蒸気／ヒュームによる結膜炎、眼刺激性が複数報告されているが、回復性のものであったとの記載がある。
 溶融アスファルトから発生するガスは、呼吸器系や眼の粘膜を刺激する。
 呼吸器感作性: 混合物としてのデータなし
 皮膚感作性: 混合物としてのデータなし
 生殖細胞変異原性: 混合物としてのデータなし
 (アスファルトの情報)
 in vivo 体細胞変異原性試験／体細胞遺伝毒性試験の陽性結果、並びに in vivo 変異原性試験の陽性の結果事例がある。
 発がん性: 混合物としてのデータなし
 (アスファルトの情報)
 道路舗装などのスレートアスファルトによる長期間に及ぶ職業暴露について、IARC は「グループ 2B」に分類している。
 (石油系炭化水素の情報)
 IARC では、未精製またはグループ 1 に分類され、ACGIH の提案もほぼ同様の分類と言える。
 生殖毒性: 混合物としてのデータなし
 (石油系炭化水素の情報)

	DAE(Distillate Aromatic Extracts)のラットにおける発育試験において、生殖毒性を発生したとの結果のリードアクロスから生殖毒性と推定される。
特定標的臓器毒性(単回暴露):	混合物としてのデータなし (アスファルトの情報) アスファルトヒュームに含まれる硫化水素／一酸化炭素により気道刺激性があることが知られている。 (ポルトランドセメントの情報) 気道刺激性があるとの報告がある。
特定標的臓器毒性(反復暴露):	混合物としてのデータなし (アスファルトの情報) アスファルトヒュームの吸入試験(マウス、6～7h／日、5 日／週で 21 ヶ月)で気管浸潤、気管支炎、肺炎、膿瘍、繊毛損失、上皮萎縮及び皮膚肥厚が認められた。 ヒトにおいて、ヒュームの吸入経路で鼻炎、口咽頭炎、喉頭炎、気管支炎、ヒュームの経皮暴露では皮膚炎、ざ瘡(にきび)様の病変、軽度角化症が報告されている。 (ポルトランドセメントの情報) 吸入経路では、ヒトにおいて良性のじん肺症を生じ、気管支炎、呼吸困難、咳、痰、肺気腫、胸痛がみられるとの報告がある。 (石油系炭化水素の情報) OECD408 に基づくラットの 90 日間の試験において、腎臓、骨髓、肝臓、胃、胸腺に影響を与えたとの報告がある。
誤えん有害性:	混合物としてのデータなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性): 混合物としてのデータなし

水生環境有害性 長期(慢性): 混合物としてのデータなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

汚染容器・包装: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制: 消防法、道路法等に定められている運送方法に従う。
海上規制: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空規制: 航空法に定められている運送方法に従う。

国際規制

国連分類: 非該当
国連番号: 非該当
容器等級: 非該当
国連品名: 非該当

特定の安全対策： 輸送前に容器の破損がないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法： 該当しない
労働安全衛生法： 表示・通知対象物(アスファルト、ポルトランドセメント)
消防法： 該当しない
毒物および劇物取締法： 該当しない

16. その他の情報

参考文献

1. 日本工業規格 JIS Z 7253
2. 「TLV and BEIs」 ACGIH
3. GHS分類結果データベース 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

※ここに記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。本品の適正に関する決定は、使用者の責任において行って下さい。